

# 営農情報

2018  
1月号 No.64



J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課  
TEL 0749-63-2101 FAX 0749-64-2085

## 今月の話題

- ◆ JAレーク伊吹 自己改革の重点項目
- ◆ 作業省力化への提案
- ◆ 農政ダイジェスト

### メモ

- ✓ JA水稻生産資材注文  
1月19日まで
- ✓ ラウンドアップキャンペーン  
3月31日まで

お早めに!



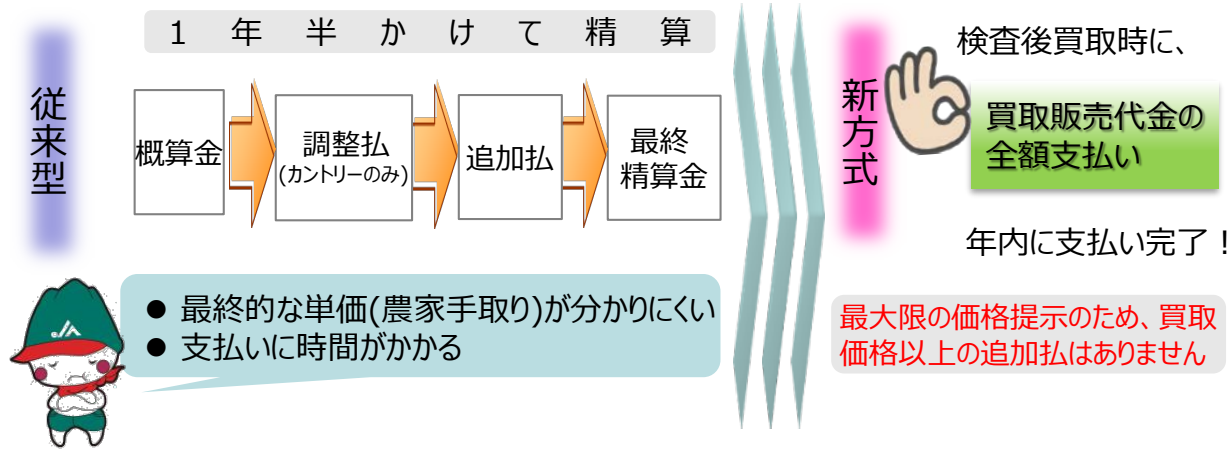
営農活性化チャレンジプランの成果発表大会に参加しました。私も、1年間の問題提起・目標課題に対する成果の発表をさせて頂きました。営農指導員として、地域組合員との関わりや、JA活動の貢献度等、様々な情報や課題を共有する良い機会となりました。

JALレーク伊吹は、“農家所得の増大”と“農業生産の拡大”を自己改革目標とし、契約に基づいた結びつきのある生産と販売力強化・コスト低減に取り組んでいます。今月はその具体的な取り組み内容を紹介します。

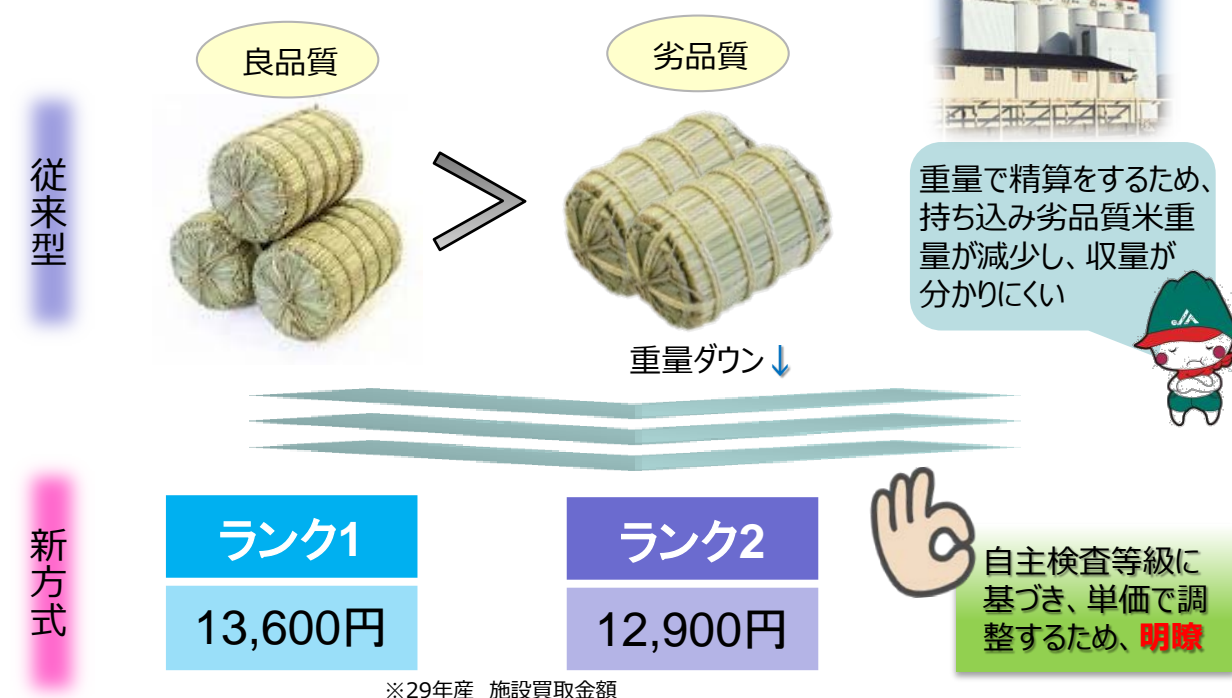
## 自己改革 ①出荷米の買取販売方式

**29年産米の委託販売から買取販売への変更 ～できるだけ早く、できるだけ多く～**  
従来の委託販売方式では、出荷米を預かってから支払い完了まで1年半かかっていた。その為、早期精算と1円でも高い生産者手取りの実現を目指し、滋賀県内に先駆けて全銘柄による買取販売を実践しました。

### 《支払い方法》



### 《施設米単価》 同じ量をカントリーに持ち込んでも…



### 《施設 中米・くず米精算》

出荷米と同様に買取販売の対象となります。  
従来より販売代金の入金が早くなります。(翌々年3月→該当年12月)

# 自己改革

## ② H30年産米・化成肥料の銘柄集約

従来型

全農取扱い化成肥料：約400銘柄  
70以上の生産工場



1銘柄当たりの生産量が少なく、コストがかかる

集約

新方式

全国で、17銘柄に集約  
工場を集約し、1カ所での生産量↑



肥料の**コストダウン**に！



化成肥料は上記の仕組みにより、低コスト化を実現しました。一発肥料については、作付地の気象・環境に影響を受ける為、全国規模での集約は難しい傾向です。しかし、JAグループ滋賀では、高まる水稲省力ニーズを受け、「水稲無機一発肥料」についても滋賀県内独自の集約検討をしています。

# 自己改革

## ③ 水田野菜の生産振興

地場産野菜として需要のあるブロッコリー、かぶ、なす、かぼちゃの他に、近年、需要が増加している加工業務用野菜に対応した、新たな水田野菜の生産振興を図るために取組みを拡充し、農家所得増大を実践します。

野菜取組実態	品目	29年12月 現在面積 (ha)
重点品目の 生産振興	ブロッコリー	6.1
	赤・白かぶ	2.3
	なす	0.8
	かぼちゃ	1.7
加工業務用の 新取組み	加工用キャベツ	2.5
	加工用たまねぎ	1



8月下旬までは現物が不足し、**国産たまねぎの需要が高い**ため、需要のある加工業務用野菜として、取組み者を募り面積拡大します。

- 全量買取による安心経営  
契約栽培で市場相場に左右されない！
- JAによる乾燥調製で有利販売  
青切り出荷で、作業スペース・時間省略！
- レンタル農機・育苗供給のサポート  
機械化一貫の作業体系が確立！  
JAから苗供給サポートあり

加工用たまねぎの収支モデル(滋賀県農業経営ハンドブックより)

【10aあたり】

項目		試算値	備考
収入	目標収量	5,000kg	
	販売金額	250,000円	単価50円/ kg
経費	物財費	77,000円	自家育苗の場合
	レンタル農機利用料	27,000円	畝立機～移植機～収穫機～ピッカー～運搬機
	経費計	104,000円	
所得(収入-経費)		146,000円	所得率58%(産地交付金含まず)

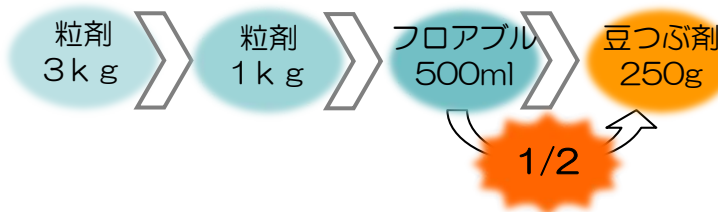
# 豆つぶ剤について ~作業の省力化~

農薬には様々な形態がありますが、今回は省力型資材である豆つぶ剤のご紹介をします。

## ▶ とても省力的である。

散布量が10a当り250gと軽量。  
散布者の作業負担軽減・散布時間の短縮が可能です。

10a当りの散布量



## ▶ 容器包装ゴミの削減

フロアブルボトル等と比べ、廃棄する包装ゴミの量が少なくて済みます。

## 拡散性に優れた豆つぶ剤の散布方法

### ①手撒き・手ふり散布

手袋をし手撒き散布。ボトルのようなパッケージの場合は手を汚すことなくそのまま手ふり散布も可能。



### ②ひしゃく散布

3反以上では…



これで約20g

魚の撒き餌のような、ひしゃくを使用すると遠くまで散布可能。

### その他豆つぶ剤 ラインナップ

#### 中,後期除草剤



#### ヒエ剤



#### いもち病剤



#### カメムシ防除



ひと月の動き

## 農政ダイジェスト

農業・地域の雑誌「地上」より抜粋  
～定価(税込)606円 購読申込受付中～

### NHKニュースにおける報道について

12月17日のNHKニュースにおいて、30年産米の「生産目安」に関する報道がなされ、北海道が主食用米の増産をするかのような報道がありましたが、誤ったメッセージとして抗議。(北海道中央会) 30年産生産量が微増した要因は単収設定の変動によるものであり、作付実態とは異なり、生産目標はH29年を維持。

### 米の生産調整の見直しの対応法を決定

自民党は農林合同会議で、18年産米からの米の生産調整の見直しの対応方針を決めた。民間主体の生産調整を促すため、国が米の関係団体で作る全国組織の立ち上げを支援し、米の安定取引に向けた産地と中食・外食事業者とを結びつける取組みを後押しする。全国組織は17年以内に発足させ、政府予算に具体的な支援を盛り込む。

### 18年産米の適正数量が735万 t に

農水省は、18年産の主食用米について、需給を安定させるための適正生産量を735万 t にすると決めた。生産数量目標に代わるもので、数量は17年産の生産数量目標から据え置き。これまでの同省から都道府県への生産量の配分は廃止する。今後、需給調整は国主導から産地主導に大きく転換する。

### レク伊吹の動き

#### チャレンジプラン成果発表大会開催

営農事業に携わる全ての職員が、テーマや課題を明確化した上で、1年間のプランに取組んだ成果を発表しあい、営農指導事業・職員の資質向上と情報・課題を共有化する事で、営農指導の活性化を図る事を目的としており、成果の発表大会が行われた。

当日は審査基準に基づき審査、表彰式を執り行われ、最優秀者の企画内容は、水稲・野菜複合経営における作業性調査と実践モデルであった。